

集計ミス発覚

この数字を見ておかしいと思わなかったことが問題!!

前号（市民ネットワーク・のだ通信122号）でご報告した特別養護老人ホームの入居率を取り上げた数字に誤りがありました。

特養入居率の誤りに気付いた経緯
 前回の一般質問に納得がいかず、再度調査し、9月議会でも一般質問に取り上げるため通告書を提出しました。聞き取りを行った職員が「どうしてこのような数字なのか？」と気づきました。そこで、再調査した結果、誤りがあったことが発覚したのです。

しかし、議事録は訂正がきかないため、前月の議事録について誤りがあったことを福祉部長が認め、謝罪し訂正しました。
 このような間違いはあってはならないことです。



市議
小室 みえこ

百歩譲って誤りは仕方がないとしても、この数字を見て、「こんな数字で危機感を持たなかった」ことが問題だと指摘しました。

平成24年～28年施設入居率（正）

区分	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	合計
定員	608	603	603	643	713	3,165
入居率	87.05%	86.82%	88.41%	86.73%	88.17%	87.46%

平成24年～28年施設入居率（誤）

区分	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	合計
定員	568	568	568	608	678	2,990
入居率	59.26%	86.95%	77.28%	62.32%	61.45%	69.06%

表の入居率に、市外の方の入居率（8〜9％）がプラスされます。

特別養護老人ホームの
待機者数と入居率

待機者数 345人（7/1現在）
 入居率 97.1%（8/1現在）

小室 計画立案の時と現状を比べた場合の差異について聞きました。

第6期野田市シルバープラン抜粋
 (1) 施設サービスの利用者数の推計に当たっては、野田市として真に必要な施設整備を推進する計画を位置付けて、利用者数を推計しました。具体的には、平成29年度末の特別養護老人ホームの待機者数を921人と推計するとともに緊急性の高い待機者を位置付けてその必要性を施設整備とし、利用者数を推計したものです。

つまり計画では、921人としながら実情は345人であるため、その差をどのように考えればいいのか？ ということを質問しました。

この推計によって計画を見誤ってしまうことはないのかを聞きたかったからです。しかし、推計された

921人の中の要介護3以上が特養入居基準（第6期改定により）になったためその対象となるのが345人となったというのです。このことから、第7期のシルバープランで計画していた施設整備等100床は見直すものとするというものです。

小室みえこのコメント

野田市には、規模の違いがあつたり、市民しか入所できない地域型の特養も含め12の特養があります。人口規模からいうと、その数は多いようです。

この施設整備計画を見誤ると、市民にとつても行政にとつても、事業者にとつてもマイナスになりかねません。

心配だから申請をしておこうというものが少なくないようです。

常に現状の把握と計画との相違に対応していくことを怠るべきではありません。

